

報道関係者各位

2019年5月16日  
シュナイダーエレクトリック

## シュナイダーエレクトリック、電源管理ソフトウェア PowerChute Network Shutdown4.3 が「Nutanix Ready AHV」を取得

- Nutanix システムの電源管理をより強化し、Nutanix のハイパーバイザーである AHV の自動シャットダウンから自動起動まで対応
- Nutanix の管理ツールの Prism と連携し、PowerChute Network Shutdown のソフトウェア機能によりクラスターの停止と仮想マシンの制御が可能

エネルギー・マネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、UPS（無停電電源装置）電源管理ソフトウェアである「APC PowerChute™ Network Shutdown」(エーピーシー パワーシュート ネットワーク シャットダウン)の最新版である「APC PowerChute Network Shutdown v4.3」が Nutanix システム互換の「Nutanix Ready AHV」を取得したことを本日発表しました。

「PowerChute（パワーシュート）」は、UPS と組み合わせて使用する APC ブランドの電源管理ソフトウェアです。 「PowerChute Network Shutdown」は、ネットワーク環境を持ったユーザーに対応した UPS・サーバー管理ソフトウェアで、停電などによる電源異常を感じた際に、物理サーバーと仮想マシンにネットワークベースで安全なシャットダウンが可能です。

最新版の「PowerChute Network Shutdown v4.3」では、ハイパー・コンバージド・ソリューションへの対応を強化しました。VMWare vSAN だけでなく、Nutanix も Web ブラウザ上の簡単な設定によりシャットダウン制御が可能となり、ユーザー側でのスクリプトによるプログラム構築が不要になりました。また、Microsoft Windows Server の記憶域スペースダイレクトといった主要なハイパー・コンバージド・ソリューションへの対応も拡張しています。

「Nutanix Ready AHV」を取得した PowerChute Network Shutdown v4.3 による主な新機能は以下の通りです。

- VMware ESXi に加え、Nutanix が提供するハイパー・バイザー AHV に対応
- Nutanix 管理ツール Prism と連携し、GUI による設定で電源障害時の自動シャットダウンと自動起動に対応
- CVM(コントローラーVM)および AFS(Acropolis File Services)のシャットダウン
- 最新 AOS 5.10 対応

IT 資産の活用方法が多様化するなか、それらを守る電源保護ソリューションにおいても今まで以上に効率的で高度なものが求められています。シュナイダーエレクトリックは、ユーザーのニーズを踏まえた信頼性の高い製品やサービスを提供していきます。

-----ご参考-----

## PowerChuteについて

「PowerChute（パワーシュート）」は、UPSと組み合わせて使用する APC ブランドの電源管理ソフトウェアです。「PowerChute Network Shutdown」は、ネットワーク環境を持ったユーザーに対応した UPS・サーバー管理ソフトウェアで、停電などによる電源異常を感じた際に、物理サーバーと仮想マシンにネットワークベースで安全なシャットダウンが可能です。

お客様のニーズやシステムにあわせ下記 3 種類のソフトウェアを用意しています。

- データセンターや大規模サーバールーム向けの「PowerChute Network Shutdown」
- 中規模システム向けの「PowerChute Business Edition」
- SOHO・ホームユース向けの「PowerChute Personal Edition」

## Schneider Electricについて

シュナイダーエレクトリックは、ビル、データセンター、電力インフラ、工場に向けたエネルギー・マネジメントとオートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進しています。世界100ヵ国以上で事業を展開し、低・高電圧およびセキュアパワーのエネルギー・マネジメントとオートメーションシステムの分野で名実ともに業界のリーダーです。エネルギー、オートメーション、ソフトウェアを組み合わせ、統合された効率化システムを提供します。当社のグローバルなエコシステムの中で、当社のオープンプラットフォームを活用しさまざまな企業や開発者コミュニティと連携することで、リアルタイム管理や高効率な運用を実現します。私たちは当社をとりまく素晴らしい人々やパートナーに支えられ、そして技術革新・多様化・持続可能性へのコミットメントを通して、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現します。 [www.se.com/jp](http://www.se.com/jp) 2018年11月20日にWEBドメインを変更しました。

[Discover Life Is On](#)[Discover EcoStruxure](#)

Follow us on:       

## 報道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：金光真弓（かなみつまゆみ）

住所：東京都港区芝浦二丁目 15-6 オアーゼ芝浦 MJ ビル

TEL : 080-3022-3067

Email : [Mayumi.Kanamitsu@se.com](mailto:Mayumi.Kanamitsu@se.com)